

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所くるみ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭的な雰囲気、障害の程度に関わらずみんなが同じ空間で過ごせる。	・活動に直接関わることが出来ない児童も同じ空間で見え参加出来るよう開かれた空間になっている。	・一人で集中したい時に刺激の少ない場所を用意したり自由遊びの選択肢を増やしたりしていく。
2	近所に体育館や公園があり、思いっきり運動出来る公共機関がある。	・作業療法士がプログラムを考え、身体機能の向上、気分転換、ストレス発散などの支援が出来る。 ・児童が運動の内容の選択肢を増やすことが出来る。 ・体育館や公園に行くまでの道中で交通ルールの確認をしている。	・体育館や公園における活動の種類を増やしたり、内容を充実させたりしていく。児童のニーズに答えられるように努めていく。
3	外部講師を呼んで職員のスキルアップや事業所の支援方法の改善など行っている。	・外部講師によるアドバイス等を事業所内で検討している。 ・法人内での職員の移動があることで、他事業所の支援方法など取り入れることが出来る。	・外部講師をお願いしたり、職員が研修に参加することで更なる支援のスキルアップにつなげ、事業所内で共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣の家には理解があるが、事業所の認知度が低い。	・公共機関を利用する時、挨拶をしたりするようにはしているが、交流を持つ機会はない。 ・職員が近隣の家の方など積極的に話しかけるように心がけている。	・イベント(くるみ喫茶)に招待することで事業所の存在を知ってもらう。 ・自主的に近所のゴミ拾い等の活動を行い地域との交流を更に深める。
2	保護者同士の交流が少ない。	・仕事や保護者の意向により、時間を合わせて頂くことが難しい。	・法人内で定期的におしゃべり会を実施しているので、積極的に参加を促す。 ・イベントに保護者の参加を呼びかけ一緒に準備等を通して交流を図る。
3	民家の為、部屋の出入り口や玄関が狭い。	・帰る時、児童が一斉に玄関に行こうとして混み合う。 ・玄関の入口に段差があるので声掛けをして事故が起こらないよう気を付けている。	・送迎の車ごとに玄関に行く順番を決めて、混雑しないようにしていく。 ・段差のある所にライトをつけ、見やすい環境を作る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所くるみ

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 33人(保護者 30名)

回収数 25名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	0	2	・工夫はされていますが、広さ的には人数のわりに狭いと思う。	・活動に合わせて部屋分けを工夫したり、公共機関を利用し、体を動かしたりして安全にも考慮している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	6	1	3	・もう数人いれればいいと思う。	・職員配置は出来ている。企業説明会に参加したりハローワークに求人を出したりして人員確保に努めている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2	0	1		・個々に合わせて情報を伝えられるようにスケジュールの提示方法やPECSについて研修を行い支援力向上を目指す。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	0	1		・衛生面、感染予防の観点から清掃、消毒を行っている。・研修等を通じて活動に合った空間作りをしていく。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2	0	0		・面談や送迎時に情報共有し、保護者と一緒に本人に合った支援方法を考えていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1	0	0		・支援プログラムにそって個々のニーズに対応した支援を行っていく。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	0	0	0		・面談や送迎時に情報共有を本人に合った支援計画を保護者と一緒に考えていく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2	1	2		・ライフスキルトレーニングや季節の行事を取り入れている。体育館の利用や地域交流など積極的にこなっていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	6	1	12	・他の子供の活動する機会は分らないが、徳山の里山活動では地域の方と接している模様。事業所以外の方とふれあう機会があると思う。	・イベントで地域の子供を招待して交流を持つ予定にしている。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	4	0	0		・利用契約時に説明している。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	4	1	1		・保護者向けの研修会の案内をそのつど行っていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	1	1	0		・送迎時や電話等でそのつど連絡を取り合いより深く共通理解出来るように努める。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	1	1		・面談や送迎時に助言を行っているが、必要に応じて随時面談を提案するなど対応していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2	0	0		・特性理解を深めるため勉強会の参加、事例検討を行い支援向上に努める。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	8	3	5	・兄弟向けのイベントがあっても参加しないと思う。当人にその気が無いので。 ・ご案内のプリントを良くいただくのに日程が合わず参加出来なくて申し訳ないです。	・保護者同士やきょうだい児への支援も今後取り組んでいきたい。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	3		・今後も出来る限り迅速かつ丁寧に対応していきたい。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	0		・ニーズに応じた対応（絵カード、筆談等）を通して配慮していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	2	0	1		・行事予定については広報「くるみだより」にてお知らせしている。・自己評価の結果についてはホームページにて掲載している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	2		・重要書類等、鍵付きの書棚で管理している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	0	1		・各種マニュアルは策定している。今後、周知説明の機会を設けたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	3	0	1		・毎月避難訓練を設定し行っている。 ・非常時の対応についても職員で研修を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3	0	0		・児童の安全を確保する為の計画を周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	2		・事故発生時には小さなことでも速やかに保護者の方々に連絡するように努めている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2	0	0	・長期のみの利用ですが見て下さり助かっています。ありがとうございます。	引き続き、支援の向上に努めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所くるみ				公表日	令和8年2月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・部屋ごとに活動の内容を分けたり、外活動を行うなど工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・活動の内容や児童の人数に応じた配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・部屋に名前を付け分かりやすくしている。	・玄関の所に段差があり暗くなると見えにくくなる為、ライトを設置し改善していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・置いたある物がゴチャゴチャしておらずスッキリしている。 ・必要な物が配置されている。 ・自分で取り出せるようにしている。	・おもちゃの種類を調整して児童の自発的な要求が出来るようにする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・目的別に部屋を分けているのでそれに応じて児童が選択している。	・活動の内容によって机の配置などを工夫していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・ミーティング、振り返り等を行い、情報共有し連携をとっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員会議で自己評価の結果を共有し、問題解決に向けての話し合いや保護者からの意見を取り入れ業務改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・ミーティングを行い意見を出し合い情報共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・外部講師をお願いすることで、支援の方法の見直しや児童の対応の改善など行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・法人内や地域で開催される研修に積極的に参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・支援プログラムは職員会議にて話し合い作成している。 ・ホームページにて公表をしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・面談で保護者の情報を収集し、他事業所との情報共有や個別支援会議により検討し作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・面談や個別支援会議により支援内容の検討をしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・会議の中で月の計画を検討し決定している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・季節に応じた活動を用意したり、その時に必要なライフスキルトレーニング等行っている。	・児童が提案した関心を持っていることを活動に取り入れ、意欲的に参加出来ることを増やしていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		・適切に相手に自分の意思を伝えられる方法を児童によっては見つけられないためこれから様々な方法を試していきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・法人内で連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・送迎時に情報交換を行っている。行事等は保護者を通して行っている。	・情報共有を図る為、学校にくるみだよりを渡す案を検討している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・就学前に保育園や児童発達支援事業所等見学をさせてもらい情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		・本人の様子、支援内容について事業所等へ引き継ぎを行なっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・児童発達支援センターの研修会に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・地域の児童と公園で会ったり一緒に遊ぶことはあるが交流は少ない。地域のイベントに参加する機会を作ったり、くるみでのイベントに地域の児童を招待し交流する機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		・法人内職員が参加し、情報共有している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・面談や送迎時、LINEなどを使い児童の成長したことや課題となることを伝えあうようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・研修の案内を配布したり、参加を促す声掛けをしている。	・研修には参加出来ないが興味がある方に対して資料や参考資料の共有が出来るようにしていきたい。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時、そのつど説明している。	・契約時のみでは伝わりにくいことを考慮し、年1回書面等で再度確認出来る仕組みを検討する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談時に保護者の意向や保護者を通して本人の思いを確認している。	・本人の思いを直接聞く機会を設けていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・保護者にも計画をお渡しし、説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・面談や送迎時に保護者から話を聞き取り、児童の関わり方を一緒に考えたり、相談支援員と連携しながら対応するようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	・茶話会や研修などのお知らせを配布し、交流出来る機会を作っている。	・父母の会などの活動自体は現状出来ていないが要望があれば検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情については、なるべくその日のうちに対応し改善策について伝えている。	・迅速に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・月に1回広報「くるみだより」を発行している。	・広報により活動の様子や行事など分かりやすく伝えられるよう工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・鍵付きの書棚を利用し管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・PECSや視覚的に理解できるものなど、児童に合わせた方法を活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・くるみカフェを開き地域の方とふれあう機会を企画している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・様々な状況を想定した訓練やマニュアルの周知徹底を心掛け、より細かい対策をしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・児童に告知なしで訓練をすることもあり、その時の児童の様子を確認している。（パニックにならないか。逃げられるか等）	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・薬が変更になった時に知らせてもらうようにしている。	・そのつど保護者に確認し対応していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーの種類、薬の服薬、緊急連絡先等に記載している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・交通安全や防災訓練等を活動の内容に取り入れている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		・面談や広報等を利用して周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・その日のうちに対策を話し合い、全職員で情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・全職員で定期的に虐待チェック表をしたり、研修を受けたりして対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		・身体拘束について職員間で共有認識を図り、必要な場合は保護者に説明していく。	